

学校の教育目標

たくましく しなやかな 安井の子

よく考える子 仲よくする子 やりぬく子

子どもの
自立する力
を伸ばす。

経営目標

目指す学校像

「地域が誇れる美しい学校」

<重点>

自分の考えが表現できる子 仲間の良さを見付けられる子 挨拶・掃除ができる子 の育成

中期経営目標

<学習づくり>

自分の考えをもち、表現できる児童
～自分の考えを筋道立てて話したり、書いたりする児童～

<集団づくり>

「安井小人権宣言」を核として、
自分の良さや仲間の良さが見付けられる児童

<健康で安全な学校づくり>

校内・登校班での挨拶、黙って掃除
ができる児童

<チームやすい>

声を出し 声をかけ合い 事実
と問題点を共有する職員集団

短期経営目標

- 1 どの子も「わかった、できた」と実感できる授業の実施
- 2 授業や集会の中で、自分の考えを表現する場の位置付け
- 3 漢字・計算・読書の定着
- 4 家庭学習の習慣化

- 1 「安井小人権宣言」を核とした月目標の設定と見届けの実施
- 2 自己有用感を実感できる場の位置付け
- 3 仲間の良さが見付けられる場の位置付け

- 1 「自分の命を守る」ための訓練の実施と自らがや事故防止に努める意識
- 2 校内・登校班での挨拶の啓発
- 3 黙って隅々まで行う掃除の実践と見届けの実施

- 1 学年主任会を核とした生徒指導対応（報告・連絡・相談）
- 2 終礼での職員の意思統一
- 3 保護者、地域への情報発信
- 4 リフレッシュデーの完全実施

具体的な方策・担当

- 1 どの子も「わかった、できた」と実感できるための資料を用いて授業を行う。（電子黒板・絵・実物・作品等）
- 2 毎時間、自分の考えを表現する学び方を提示し、表現する時間を確保する。（キーワードを基に書いたり発言したりする）
- 3 基礎学力の定着を図るための確認テストを実施する。読書量目標値を定める。
- 4 家庭学習の仕方を明示すると共に、目安とする時間も保護者や児童に周知する。

【学習指導部】
【研究推進委員会】

- 1 「安井小人権宣言」を核とした月目標を掲示すると共に、毎日目標に関わっての評価を教師や児童が実施する。月末には、達成状況を学級で確認する。
- 2 かがやき見付けの実践や誕生日紹介、日々の教師の価値付け。
- 3 「安井小はいいなアンケート」の毎月の実施と「無記名アンケート」学期1回の実施と担任による教育相談の実施
アンケートを管理職まで即報告し、校長が毎月の状況を職員に知らせる。
- 4 新たな不登校を生み出さないための家庭訪問やケース会議の実施

【生徒指導部】

- 1 「3つの訓練」の実施とけがや事故防止のための啓発
・シェークアウト訓練と時間短縮を意識した命を守る訓練
・実施を想定した引き渡し訓練
・合言葉を用いた不審者対応訓練
- 2 挨拶の値打ちを共有し、いつでもどこでも誰に対してもできる挨拶の実践
下校時の見守りボランティアやPTAとの連携のさらなる強化
- 3 自分の役割分担箇所の掃除の仕方を指導し、その良さを価値付け、広める。
保護者ボランティアを募り、掃除を一緒にやる。

【健康安全指導部】

- 1 隔週の学年主任会の充実
①事実を共有し、的確な対応を研修する生徒指導交流
②担任や学年に責任を負わせない生徒指導事例研
- 2 危機管理意識の徹底
①9時までの居場所確認
②即日のトラブル解消
③不登校にしないケース会議
- 3 保護者地域への情報発信
① 学校だより、HP、地域の会合
- 4 毎週水曜日リフレッシュデーを確実に実施する。

【学年主任会】

評価項目・目標値

- 1 単元を通じて、最低1回は資料を用いて授業を行う。80%
- 2 毎時間、自分の考えを表現する場の位置づけを行う。80%
1時間1回全員挙手 100%
書くことの指導の充実（キーワードを用いてまとめて書く・書く観点を示して書く）決めた単元では毎時間実施 100%
- 3 ドリル確認テスト 80 点合格者 90% 読書量月 低学年 10 冊 高学年 4 冊
- 4 (学年×10) +10 分の家庭学習 80%

- 1 「安井小人権宣言」を核とした月目標が守れたと言える児童 95%
- 2 自分にはよいところがあると思っている児童 93%
- 3 かがやき見付け 誕生日紹介 100%
- 4 いじめアンケートを実施後、担任による教育相談および管理職への報告 100%
- 5 3 日欠席した児童宅へ家庭訪問 100% ケース会議の実施 100%
新たな不登校を生み出さない 100%

- 1 「3つの訓練」の実施 100%
命を守る訓練等時間短縮
けがや事故防止のための、休み時間の過ごし方や廊下歩行の指導の実施
- 2 登下校や校内で、いつでもどこでも誰に対しても挨拶ができる自己評価 80%
見守り隊のアンケート評価 80%
下校時の見守りボランティアやPTAとの連携のさらなる強化 80%
- 3 黙って隅々まで掃除ができたと言える児童 85%
保護者ボランティアの満足度 85%

- 1 生徒指導主事等を中心に研修会 100%
・若手とベテランの関わり
・学級経営についての学び合い
- 2 相談できる職員集団（不祥事の根絶）
→教頭を中心に、気軽に聞き合える姿 職員アンケート 85%
- 3 リフレッシュデー（水曜日）の実施による心と体の健康保持 100%
不祥事根絶シートの学期に1回実施 100%

家庭・地域と願いを共有する開かれた学校

- * わかり易い情報を提供し、保護者の学校教育や子育てへの関心を高める。
- * 学校の情報（良さ）を地域に公開し、理解と協力を得る。（連合自治会、地区民協、学校HP等）学校支援ボランティアの拡大と推進—放課後学習寺子屋の実施。クラブや校外学習講師の依頼
- * PTA 活動や地域行事への積極的な参加を図る。少年団活動等、学校外での頑張りも評価する。保幼小の連携とさらなる充実を図る。（教師の現場研修の充実と交流）

・地域の自然や・歴史・文化にふれ、「ふるさとの大垣科」で学習。

・安井小太鼓隊：美しい心と地域の方とのふれあい

・様々な人とのふれあい 安井地区各種団体との連携
幼稚園・保育園との連携
外部機関との連携

<PTAスローガン>

「安井のおとな サンキュー大作戦1」